

第30回放送番組審議機関 議事概要

■開催年月日：令和元年7月24日（水）

■開催場所：ブロードキャスト・サテライト・ディズニー株式会社 会議室

■Dlife 放送番組審議機関審議委員（令和元年7月24日現在）

北村みどり（三宅デザイン事務所 代表取締役社長 21_21DESIGN SIGHT 代表取締役社長）

齊藤裕人（日本大学芸術学部映画学科教授） * 審議委員長

中村伊知哉（慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授）

早見優（歌手）

ピーター・バラカン（ブロードキャスター）

湯川れい子（作詞家・音楽評論家、エッセイスト）

吉田知子（オリコン株式会社経営企画本部 広報部長）

四方田浩一（映像メディア総合研究所 代表） * 副審議委員長

* あいうえお順、敬称略

■出席した委員（敬称略）：

齊藤裕人（日本大学芸術学部映画学科教授） * 審議委員長

中村伊知哉（慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授）

ピーター・バラカン（ブロードキャスター）

湯川れい子（作詞家・音楽評論家、エッセイスト）

吉田知子（オリコン株式会社経営企画本部 広報部長）

四方田浩一（映像メディア総合研究所 代表） * 副審議委員長

* あいうえお順、敬称略

■議題：

- ・開会の辞 審議委員長より
- ・視聴者からの問い合わせ状況報告（4月～6月分）
- ・6月から7月の編成プランについて
- ・番組審議（作品紹介とディスカッション、プロモーションの紹介）

< 審査番組 >

① 「LUCIFER／ルシファー」 シーズン1 日本語吹替版（第1話）

② 「シカゴ P.D.」 シーズン1 日本語吹替版（第1話）

- ・閉会の辞 審議委員長より

■議事概要

齋藤審議委員長による開会の辞に続き、以下の議題が進行した。

○4月～6月までに、カスタマーサービスに寄せられた問い合わせ状況について、視聴者からの問い合わせや要望、また再放送の要望が高かった番組を報告し、確認された。

○6月7月の編成について、以下のポイントについて、番組宣伝映像を交えながら説明を行い、確認された。

1. 6月から7月にかけて、『Major Crimes ～重大犯罪課』シーズン6、『Hawaii Five-0』シーズン6、『マクガイバー』シーズン2、『ビッグバン★セオリー』シーズン3といったDlifeで人気を博する海外ドラマの新シーズンの放送が続々スタートした。

また、7月には、3月から放送中の『シカゴ・ファイア』シーズン2と5月から放送中の『シカゴ P.D.』シーズン1のシリーズをクロスする特別エピソードを2日間連続した特別編成として放送を行った。

2. Dlife のみで放送され、高い支持を受けているバラエティ番組、『ボンダイビーチ動物病院』『ブリティッシュ ベイクオフ』の新シリーズも7月に続々放送を開始した。

3. 韓国ドラマのラインナップにおいても、6月に話題のドラマ『トッケビ～君がくれた愛しい日々』を、7月には『最高の一発 ～時空を超えて』の放送を開始し、韓国ドラマファンに向けた編成を充実させた。

4. 夏休みに向け、キッズの視聴時間帯の編成も、新番組『バグ・バグ・アドベンチャー』の放送開始や、人気シリーズ『ティーン・スパイ K.C.』『おとぎのもりのゴールドディとベア』の特別編成で充実を図った。

○委員からは、事前視聴された番組に対し、それぞれ以下のような意見や感想が寄せられた。

ー 『LUCIFER/ルシファー』シーズン1 日本語吹替版(第1話)について、「ルシファー」という設定から想起される恐怖感やバイオレントな要素がなく、むしろファンタジーの要素もあり、ユニークでコミックが土台となったキャラクター設定が楽しめた。また、大人のユーモアもあり、一話完結で見やすく続きが見たくなかったという感想が多数寄せられた。一方、一部の審議委員からは、ターゲット設定が理解できず、入り込めなかったというコメントも寄せられた。

ー 『シカゴ P.D.』 シーズン 1 について、すでに放送中の『シカゴ・ファイア』のファンは、シリーズを往来してシリーズ全体を楽しめるであろうという感想が全員から寄せられた。

また、アメリカの警察の実態を描くリアルさに引き込まれ興味深く楽しめた、という多数の審議委員の感想が寄せられたが、一方で、事件や捜査の真に迫った描写が苦手な作風であったという一部の審議委員からのコメントも寄せられた。

○最後に齋藤審議委員長による閉会の辞が述べられ、閉会となった。

以上